

## 「新型コロナウイルス対策」に関するアンケート調査結果

2021年5月 日本医労連

- 【調査期間】 2021年4月1日～2021年5月14日  
(※調査対象期間：2021年1月1日～2021年3月31日)
- 【調査対象】 日本医労連加盟労働組合のある高齢福祉・障がい福祉・児童福祉の事業所
- 【調査方法】 調査票を加盟組織に経由して、各単組・支部（事業所ごとの労働組合）へ送付。調査票を単組・支部から回収し、日本医労連で集約。
- 【調査目的】 昨年、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）が世界的に広がりました。その状況下で、介護・福祉の現場が置かれている状況などを調査し現場の実態を明らかにしました。前回調査から1年経過する中で、改めて現場の置かれている実態やその後の変化、必要としていることを把握し、国や自治体に必要な対策を要請することを目的に調査を実施しました。
- 【調査内容】 今般のコロナ禍で「介護・福祉事業所が困っていること」、「国や自治体に求めたいこと」、「知らせたいこと」など
- 【回収数】 135事業所

内訳	<b>高齢者福祉</b>	<b>117件</b>				
	訪問介護	16件	通所	25件	グループホーム	7件
	特養ホーム	7件	老健	13件	ケアマネ事業所	11件
	小・看護多機能	11件	有料老人ホーム	7件	その他	20件

	<b>障がい福祉</b>	<b>12件</b>				
	訪問介護	2件	通所	3件	ケアマネ事業所	1件
	入所施設	3件	その他	3件		

	<b>児童福祉</b>	<b>4件</b>				
	児童通所	1件	その他	3件		

	<b>NA</b>	<b>2件</b>			
--	-----------	-----------	--	--	--

※ その他 26件（訪問看護、ショートステイ、サ高住など）

## 【アンケート調査の概要】

新型コロナ拡大に伴い、4月に3度目の緊急事態宣言が政府より発令されました。この間のコロナ禍において、介護・福祉の職場は、新型コロナの脅威に不安を抱えながらも、利用者と家族に寄り添ったケアを実践して、その生活を支えています。

昨年、日本医労連が発表した介護・福祉版の「新型コロナウイルス対策緊急アンケート」の調査結果では、第2波、第3波、新たなウイルス感染症の発生に備えるうえで、非常に重要な意見が集まるとともに、「衛生物資」、「体制」、「補償」、「設備」、「情報」の5つが不足している特徴を明らかにしました。今回のアンケート調査では、前回調査で明らかになった「不足」の5項目に加え、「賃金（慰労金）」の項目を新設し、その実態を明らかにするために調査を行いました。また、【政府・自治体に求めたいこと】、【知ってほしいこと、知らせたいこと】について自由記載で回答を求めました。

介護・福祉を守り、利用者とその家族の生活を守っていくうえでも、非常に重要な意見が集まりましたので、アンケート調査の結果をまとめて報告します。

## 【調査結果の概略】

### ◆衛生物資の不足

衛生材料については、国や自治体から配布や補助金などの措置も図られ、ピーク時より解消してきています。しかし、依然としてプラスチック手袋(13.0%)、マスク(6%)、ガウン(3%)と、不足しているとする回答は無くなっていません。そうした実態を知らせる現場の声では、「マスクの配布がなく半年以上個人負担だった」、「ガウンはゴミ袋を加工して簡易エプロンを作成している」という回答がありました。また、衛生材料に関しては品質の低下、使用頻度が上がり絶対数の増加、価格の高騰で経営を圧迫している実態も明らかになっています。

感染症予防・防止の観点からも、国が責任をもって衛生資材を確保し、介護・福祉事業所に安定的に供給する必要があります。

### ◆体制の不足

平時から人手不足の介護・福祉職場は、新型コロナから職場を守るため、衛生業務、面会制限に伴う利用者・家族への対応など、感染予防業務が増えています。そうした、コロナ禍に伴う負担の増加は、新型コロナが完全に収束するまでは、労働者の肉体と精神の両面に重くのしかかっています。調査の回答でも全体の70%が「体制の不足」と回答しており、群を抜いた回答率となっています。また、コロナ対応が1年以上続いている状況を鑑みても、体制の不足に起因する課題は、休業取得や労働者のメンタルなどに影響を及ぼしていると考えられます。

介護・福祉職場の難局を乗り越えるためには、体制確保が急務な状況に変わりありません。

### ◆補償の不足

職員の賃金や人件費に対する補償を求める声が多く寄せられています。介護事業所の

人件費率は6～7割と高いため、事業所の減収は労働者の賃金に及ぼす影響が非常に大きくなります。調査では、昨年より年収が「減った」と回答した事業所が約5割に及んでいます（慰労金含めず）。こうした状況を反映して、事業所の収入減への補償を求める声も多くなっています。現行でも、介護事業所への支援事業は行われていますが、人材確保や感染予防等に要したいわゆる「かかりまし経費」の補償が中心となっており、利用者減等による減収への補償はほとんど行われていません。コロナ禍で業務が過酷を極めているにもかかわらず、年収が下がってしまうという理不尽を解消するためにも、慰労金の追加支給などの支援が求められています。

#### ◆設備の不足

そもそも、介護施設の構造は基本的には生活空間として設計されているため、感染予防は想定されていません。そのため、新型コロナ対応に困難を抱えながら対応している様子が浮かび上がりました。具体的には、「エリアを区分してケアすることが構造上、相当難しい」、「仕切りが少ない」など、構造上の問題や、食事用にアクリル板を設置するために購入したいが「高価で難しい」といった声があり、なかには「空調がない」という回答もありました。このような環境下で新型コロナの感染予防を徹底し、あるいは感染した利用者に対応しなければならなくなっており、職員の負担は計り知れません。また、面会制限をしている施設からは、「(面会用の) Wi-Fi やタブレットの設備が必要」との声も上がっています。

#### ◆情報の不足

新型コロナ対策についてはさまざまな情報が発信されています。しかし、施設によっておかれている状況はそれぞれに異なるため、発信された情報が施設ごとに最適化されなければなりません。しかし、調査では「法人から放っておかれている感じを受ける」、「コロナ感染者を対応する際の正しいマニュアル (がない)」、「情報が多すぎて、判断に迷う」などの回答が寄せられており、情報が生かされず、むしろ不足した状況に陥っていることが明らかになりました。また、ワクチン接種に関する情報の不足を訴える声も多数寄せられました。

#### ◆ワクチン接種・PCR 検査

介護・福祉の現場では、ケアを提供するときに密や濃厚接触をさけることができない場面が多々あります。また、社会維持に必要な職種であり、いのちを守る職場であるにも関わらず、その事業形態によって、ワクチン接種の優先順位が異なる実態があります。新型コロナの拡大を防ぎ、介護を提供する人・利用する人が、相互に安心できることを最大限の理由に、希望者への早期ワクチン接種、PCR 検査の実施を訴える声が多く寄せられました。

#### ◆メンタル

収束の兆しが見えない新型コロナに対して、労働者自身が媒介者にならないよう、自粛生活が続いていることなどから、緊張状態が続き、精神的負担が限界に近付いているとの声が非常に大きくなっています。介護・福祉職場の崩壊を招かないためにも、現場従事者に対して一刻も早いメンタルケアの支援が必要不可欠です。

# 「新型コロナウイルス対策」に関するアンケートのまとめ

2021年5月 日本医労連

## 1. 事業内容及びサービス名

### —135の事業所から回答が寄せられました—

新型コロナの広がりから、4月に3度目の緊急事態宣言が発令されました。依然として、収束の目途が立たず、いのちに直結する感染症であることから、サービス利用者とその家族の生活を守るために、介護・福祉の現場では、常に感染予防策を講じて日々のケアにあたっています。

日本医労連では、高齢者福祉、障がい福祉、児童福祉の事業所の労働組合を対象にアンケート調査に取り組み、高齢者福祉 117 事業所、障がい福祉 12 事業所、児童福祉 4 事業所、NA 2 事業所の合計 135 事業所から回答がありました(調査対象期間 21.1.1~21.3.31)。その到達を踏まえて、アンケート結果をまとめましたので報告します。

## 2. 新型コロナウイルス感染者または感染疑いが、いる・いた時期があった

### —深刻な感染拡大の状況—

新型コロナ感染者または感染疑いの有無については、“有”と回答したのは、職員では 30 事業所 22%の割合でした。昨年調査では職員の感染は 0 回答だったので、新型コロナの感染拡大が職員にも広がっていることがわかります。職員のみが感染“有”の回答は 7 事業所から報告されています。利用者では、感染“有”の回答は 42 事業所 31%の割合でした。昨年の 11 事業所 6%と比較しても、感染拡大の深刻さが伺えます。感染“有”の回答は、在宅系サービスからの回答が比較的多くなっています。

## 3. 新型コロナウイルス陽性者（職員含む）が発生した場合の対応

### —感染拡大の対応は様々な制限につながる—

新型コロナウイルス陽性者が発生した場合の事業所の運営状況について、複数回答を可能とした調査を行いました。その中で、最も多かった回答は、「利用・入所制限」88 事業所 (65%)、次いで、「サービス制限」75 事業所 (56%)、「面会制限」71 事業所 (55%)、「事業休止」66 事業所 (49%) となりました。陽性者の発生状況によって、事業休止やサービス制限など対応を変更している状況が分かりました。「その他」の回答は 24 事業所 (19%) でした。「その他」の具体的な回答は、「状況によって休止や制限の判断をする」「面会禁止」「利用者隔離」「保健所の指示に従う」などでした。

## 4. 職員の休業制度について

### —休業制度の割合は昨年から増加—

新型コロナに起因する休業が「可能」とした事業所は 9 割となっています。一方、割合は少ないですが、「不可」とする回答が一定数ありました。休業制度については、7 割の事

業所が「休業制度あり」と回答していますが、賃金保障の有無について見ると、「新型コロナ感染」の場合は99%が有給で休みが保障されるのに対し、「子の休校・休園」で休む場合に有給保障される施設は6割にとどまっています。

前年の調査と比較すると、「休業制度あり」の事業所の割合、有給保障される割合はいずれも引きあがっています。

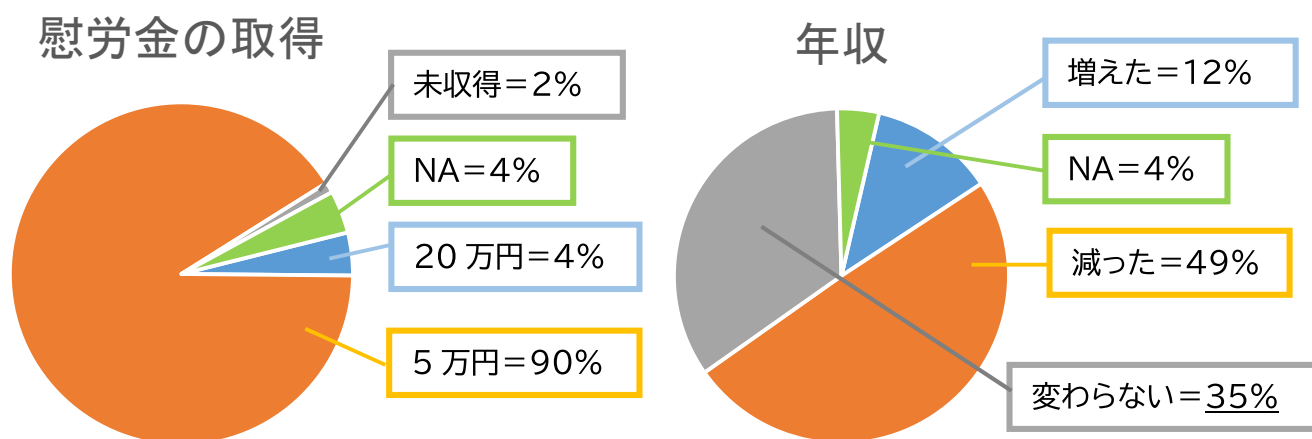
		前回	今回
有給保障	休業制度ありの施設	53%	70%
	新型コロナ感染休業	74%	99%
	感染疑い休業	73%	84%
	子の休園・休校休業	46%	60%

## 5. 賃金について

### —49%の事業所が年収維持できない—

昨年、介護・福祉従事者に慰労金が支給されました。その一方で、介護現場では利用者がサービス利用を自粛する影響から、事業所の収入を確保できずに一時金が削減されたといった声が聞かれています。そのため、慰労金の取得状況を調査しました。取得状況においては、「20万円の慰労金の取得」が4%、「5万円」が90%、「未取得」が2%、「NA」が4%となりました。

慰労金を含まずに、昨年の年収と比較する設問項目を設けたところ、「増えた」は12%、「減った」が49%、「変わらない」が35%、「NA」が4%の回答になりました。この設問項目では、アンケート調査に協力があった事業所の半数近くが、昨年よりも年収が「減った」と回答しています。コロナ禍で業務が過酷を極めているにもかかわらず、年収が下がってしまう理不尽を解消するためにも、時を待たずして、介護・福祉従事者への継続的な支援が必要なのは明らかです。



### アンケート記述より抜粋

#### 給与・休業補償

- ・ 20年度はボーナスが減った。給与・手当の補償。人手増の補償。(富山・特養)
- ・ 施設の収入減による各介護職員手当額の減少に対する補償など。基本給の昇給幅の圧縮の補償など。(石川・NA)
- ・ 収入補償。コロナの対策や感染者が発生した場合の休業補償等の人件費の補償(石川・

訪問・通所・ケアマネ・その他)

- ・ 通所系やショートの利用者は利用を控える人が多い。また、濃厚接触者の濃厚接触者にあたる職員への給与補償による休みがない（長野・有料）
- ・ コロナ疑いや家族がコロナの際、休めても補償はない。（東京・GH）

### 事業所の収入補償

- ・ 利用者減に伴う収入減、補償を拡充してほしい。（石川・訪問・老健・ケアマネ・小看多機・その他）
- ・ 通所・入所共に利用者減への収入補償、職員への賃金補償、慰労金（奈良・老健）

### 費用補償

- ・ 感染対策に必要な物品の費用、かかり増し人件費の補償（長野・通所）
- ・ 衛生用品は入力困難にありその上高騰していること。また、各自治体により補助金の活用にも差があるため、感染対策における物品等の購入に対して補償を求めたい。検査費用についても同様。（東京）
- ・ マスク・プラ手袋が高騰しているので、その補助、職員の精神的苦痛も含め、感染防止対策が続くことへの慰労、オンライン面会するための設備導入補助。（石川・有料）
- ・ プラスティック手袋等の価値が上がり、使用量も増えています。前年度の様なかかり増し費用・補助金の継続（沖縄・通所・特養・有料・その他）

## 6. 現在の事業所の状況

### －5つの不足の完全解消が求められる－

介護・福祉の現場は平時から慢性的な人手不足に陥っており、職員を募集しても応募がなく、常に少ない人数で業務を行っています。人手不足の影響は、職員がひとりでも突発的な休みを取得すると通常業務に支障をきたし、そのしわ寄せは、利用者が受けるサービスに影響を及ぼすといった悪循環につながります。そのことから、施設内で感染者が発生した場合には十分な対応ができるとは言い難い状況です。また、少ない人員配置でなんとか日常業務を行っているうえに、コロナ感染防止対策で更に業務負担が増え、職員の過重になっています。

介護・福祉は、利用者に密着しなければ行うことができないうえ、利用者に感染防止対策を理解し実施ししてもらうことが困難なため、職員が感染する可能性は非常に高いと言えます。しかし、衛生材料の確保も含めた介護・福祉施設への支援は不十分と言わざるを得ません。また、衛生材料は入手できても価格が高騰しており、経営への負担が大きくなっています。

### アンケート記述より抜粋

#### 衛生材料の不足

- ・ フルPPEのストックが少ない。（東京・小看多機）
- ・ プラ手袋はビニール手袋に変更になっている。（東京・特養）
- ・ 必要量が確保できないためマスク⇒メーカー問わず、ガウン⇒ゴミ袋を加工し簡易エ

プロン（そでなし）にプラ手袋⇒足りない分は塩ビ手袋へ（福井・老健）

- ・ マスク・消毒液、自由に使える程、余裕はない。（奈良・老健）

## 人員の不足

- ・ 慢性的な人員不足、待機回数が多い、待機含めて2週間連続勤務もある（青森・その他）
- ・ 利用者にコロナ感染が出た場合、1人のヘルパーがコロナ感染者だけの訪問になる為、1人がまるっきり動けない状態になる。今でもギリギリの人数でサービスしている状態である。（宮城・訪問・通所）
- ・ ギリギリの人数なので体調が悪くても休みづらい。（東京・その他）
- ・ 小規模なのでコロナなどで休みになった時の職員の再配置が困難。（東京・小看多機）
- ・ 日々最低限の職員で勤務を回している。3月は退職者が3人、補充は1人。夜勤制限がある職員が2名。ギリギリの状態ですユニットはほぼ一人で新人教育どころではない。このままではさらなる退職者がでる可能性あり。（富山・通所・特養・老健）
- ・ 一人でもコロナに関連した休みを取った場合、現場体制が維持できない。職員採用求人かけるも問合せゼロ。日常業務+感染対策を図るには人手が足りないと考える。（石川・訪問・通所・老健・ケアマネ・小看多機・その他）
- ・ ヘルパーはもともと人手不足。コロナにかかったり、うたがいで仕事を休むしかないが、代わりにサービスに行く人がいない。しわよせは利用者に。（福岡・訪問）
- ・ 職員体制はギリギリの状況なので感染症の発生等があれば対応できる状況ではないと思います。（沖縄・有料）
- ・ 手洗い、手指消毒、マスク着用と言われていたにも関わらず、半年以上マスクの支給はなく、個人負担だった。（群馬・特養）

## 補償の不足

- ・ 職員の給与補償（宮城・訪問・ケアマネ）
- ・ 感染対策に必要な物品の費用、かかり増し人件費の補償（長野・通所）
- ・ 通所系やショートの利用者は利用を控える人が多い。また、濃厚接触者の濃厚接触者にあたる職員への給与補償による休みがない（長野・その他）
- ・ 利用者控えの減収補償。（東京・訪問）
- ・ プラスティック手袋等の価値が上がり、使用量も増えています。前年度の様なかかり増し費用・補助金の継続（沖縄・通所・その他）

## 設備の不足

- ・ 利用者が密に会話しないためのパーティション（長野・老健）
- ・ 入所者に陽性者が出現した場合にエリアを区分してケアすることが構造上、相当に難しい。（長野・訪問・老健・その他）
- ・ 利用者さんご家族が面会できないので、Wi-Fiやタブレットなどの設備が必要。ご家族からの要望もあった。（長野・有料）
- ・ ノーリフティング用の吊り上げ自走式リフト、スタンディングリフトがほしいが資金がなく導入できない。スライディングシートを必要とする利用者さんに各1枚必要だが足りない。
- ・ タブレット等、在宅ワークや直接の接触なしでもモニタリング業務が可能な機器類の

整備。(沖縄・ケアマネ)

- ・ 入所者食事摂取時に使用したいアクリル板を購入したいが、高価で難しい(沖縄・有料)
- ・ 空調、衛生設備。(福岡・通所)

## 情報の不足

- ・ 5人の職場で法人からほうっておかれている感じをうける。(青森・通所)
- ・ コロナ対策の明確なフローがない。(東京・GH)
- ・ 区からの情報(検査やワクチン接種)が遅く、特に高齢者に対して生活関連の情報が共有できない。(東京・小看多機)
- ・ コロナ感染者を対応する際の正しい対応マニュアル(ケア中、ケア後)。(東京・訪問)
- ・ 情報が多過ぎて、判断の迷うため、正確かつ明確な情報。(福岡・通所)

## 7.【政府や自治体に求めたいこと】

### ー現場の声を反映した支援を求めー

介護・福祉の現場では、コロナ禍においても、サービス利用者とその家族の日常生活を支えるために必要なケアを提供しています。その介護・福祉現場から、政府自治体に求めたいことは、おおきく以下の①～④に分類されました。

- ①ワクチン接種・PCR検査の実施
- ②人手不足・慰労金
- ③事業所への支援
- ④実態に見合った支援

### ①ワクチン接種・PCR検査の実施

介護・福祉従事者は、サービスを利用しなければ生活維持が困難な方々の生活と、その利用者の生活を支え、社会維持には欠かさない職業となっています。その為、自身が新型コロナの媒介者になり感染を拡大させないか不安を抱えています。都度予防策を講じながら業務にあたっていますが、安心してサービスを提供していくためにも、ワクチン接種や、PCR検査の実施についての要望が多く聞かれました。

ワクチン接種については、希望者への早期接種、接種体制の確立が求められます。PCR検査については、定期的に検査を受けることができる国の体制整備が求められています。

### アンケート記述より抜粋

- ・ PCR検査等を拡大し、無症状の方の発見と保護隔離を進めて拡大を防ぐこと。(長野・通所・老健・障害・その他)
- ・ 安心してサービス提供が実施でき受ける側も安心して利用できるように、感染者が1例でも発生した場合は全職種に検査を実施して頂きたい。(費用も補助)(東京・小看多機)
- ・ 受けたい人には無料でPCRを受けさせてほしい。ワクチン接種を早急に進めてほしい。(東京・訪問)
- ・ 検査体制の充実、生活(生命が守られる)補償。(石川/訪問・通所・ケアマネ・その他)
- ・ 施設入居者及び職員へのPCR検査を定期的実施。(石川・特養)



- ・ ワクチン接種をすすめること（岡山・老健）
- ・ PCR 検査によるサーベイランスをしっかりとすすめて欲しい。特に医療・介護など人を対象にしている職業には行うべきである。（石川・通所・小看多機・その他）
- ・ スタッフにワクチンを早急に！高齢者に関わるスタッフに打つ必要がある（三重・老健）
- ・ 定期的な PCR 検査の実施。福祉施設への補助金（大阪・障害・その他）
- ・ ワクチン接種はいつからできるのでしょうか。ワクチン接種、PCR 検査をもっと多くの人が受けれるようにしてほしい。（岡山・ケアマネ）
- ・ PCR 検査がいつでも受けられる体制とワクチンの早めの確保。（沖縄・小看多機）
- ・ 介護職員と利用者さんとその家族、希望する方の頻回・定期的な PCR 検査の実施を求めます。（徳島・通所）

## ②人手不足・慰労金

平時から低賃金・重労働の介護・福祉の現場は、慢性的な人手不足に陥っています。その中でも、新型コロナの感染から現場を守り、利用者に寄り添ったケアを実践しています。新型コロナの脅威が収まりを見せない中、人手不足の解消、慰労金の再支給が求められました。

### アンケート記述より抜粋

- ・ ケアスタッフは恒常的に不足している。入所者、スタッフに陽性者が出現し、感染が拡大すれば、入所者の生命を守ることが困難になる。（長野・訪問・老健・その他）
- ・ 職員が休めるような人員体制にして欲しい。リフレッシュもできない。（長野・有料）
- ・ 介護施設の人手不足は以前から。その体制で感染予防に努めている。今後も慰労金といった形で賃金に上乘せして欲しい。（福島）
- ・ 慰労金の 5or20 の差をつけないでほしい。コロナ患者に直接関わらなくても、関わった人の穴をうめるのはそれ以外の人（東京・訪問）
- ・ 介護や医療の現場は感染対策はもちろんのこと体調管理にも通常以上に気を使い頑張っています。現場で頑張っているスタッフへの慰労金の再支給を強く求めます。現場を守っているスタッフも守ってほしいです。（沖縄・有料）

## ③事業所への支援

新型コロナ感染拡大の影響は、事業所の経営に深刻な打撃を与えています。2020 年の介護事業の倒産、休廃業は過去最高となっており、事業所を継続していくためにも支援が求められます。現在、国からの支援は、かかり増し経費の補償、一部のサービスの減収補填制度が有ります。しかし、減収補填については、多くの事業所が補填の対象になっておらず、減収補填の対象拡大が急務になっています。

### アンケート記述より抜粋

- ・ 今年度もコロナの加算を検討していただけたら。引き続きコロナ対応しているので。（長野・その他）
- ・ 事業収入は新型コロナの影響で利用者減で 2021 年度の報酬改定で更に減少です。HP の感染が報道される中、利用者は増やしたいのに増えません。この改定はひどい！！（長野・通所）

- ・ しっかり人員をとり、人件費も考慮した介護報酬下さい・・・。(石川・特養)
- ・ 事業の支援、加算項目(在宅復帰率等)の緩和、現場職員へ支援(慰労金等)(奈良・老健)
- ・ 人件費の補償。(岡山・老健)

#### ④実態に見合った支援

コロナ禍で奮闘する介護・福祉の現場から、政府に対して実態に見合った迅速な対応を求める声や、現場の実態から求められる介護・福祉への支援の声が寄せられました。

#### アンケート記述より抜粋

- ・ いい加減、オリンピックなどに多額のお金を使わないで、医療・福祉・介護・飲食等、本当に今苦しんでいる方々のためにお金を使ってほしい。(群馬)
- ・ 政策を現状に応じて早急に実行に移してください。(岡山・ケアマネ)
- ・ 適切に福祉用具を活用するノーリフティングは、介助者の腰痛予防・高齢者の拘縮改善・転倒予防だけでなく、感染予防にもなることを理解してほしい。(徳島・通所)
- ・ 急に事業を停止することはないと思っていますが、停止すると利用者さんを介助する人がいなくなるので、停止できないのが実情です。感染すると大変なことになるので、どうか「お願い」だけで済ませる実情の打破を！！(岡山・障害)
- ・ オリンピックや改憲している場合ではない！！(福岡・訪問)
- ・ 人手不足なのにコロナの派遣され病院・病棟がごちゃごちゃ業務の負担となっている。人がいない！！人や命を相手にしてるのに運送業者より(物をはこぶ)介護士の手当がやすい。(大分・NA)
- ・ 身寄りのない独居高齢者が感染した場合の支援を介護保険サービスで行うには限界があります。国や自治体が住民の命・生活を支えてほしい。(沖縄・ケアマネ)
- ・ 介護報酬改定がありましたが、現場に寄り添った内容を求めたい。コロナ対応も利用者負担増ではなく、国で補償してほしい。国の対応が遅いので各種提出物も知らせが来からの締切日が短すぎて対応が大変。(沖縄・通所・特養・その他)

## 8. 【知ってほしいこと、知らせたいこと】

### ー現場は必死で“利用者”と“家族”の生活を支えていますー

介護・福祉の現場が「知ってほしいこと、知らせたいこと」は、介護・福祉従事者自身と利用者感染者を出さない、広げないために、現場で施されている対策や、職員自身が媒介者にならないよう、自粛生活を続けているなどの理由から緊張状態が続き、精神的負担は非常に大きくなっているということです。介護・福祉職場の崩壊を招かないためにも、現場従事者に対して一刻も早いメンタルケアの支援が必要不可欠です。

#### アンケート記述より抜粋

#### メンタル

- ・ スタッフは私生活を犠牲にして業務に取り組んでいる。(青森・訪問)
- ・ 本音を言えば濃厚接触者の所には訪問したくないが、コロナ対策をして必ず訪問する事が基本で、それを拒否することができないと言われました。もし感染したらと思うと

とても不安です。このように思う自分は介護従事者失格でしょうか？（宮城・訪問）

- ・ 職員の多くが、この1年以上、感染しないさせないために自粛生活を頑張って続けてくださっています。相当なストレスの中、それを発散させるものもなく精神的に苦しんでいる職員が多くいます。（群馬・特養）
- ・ 感染拡大を受けて利用者への面会、レクリエーション等のボランティアの方の入館を制限している。利用者はもちろん職員も思うようにケアが出来ずストレスが溜まっている。（長野・特養・老健・通所・ケアマネ）
- ・ 日々見えないウイルスの闘いは大きな精神負担があると感じるので、長引かないことを祈るばかりです。メンタルヘルスも重要だと思います。
- ・ 日々リスクを抱えながら支援を必要とする方のサービスを実施しています。事業所がクラスター発生した際に職員のメンタルヘルス対策やカスタマーハラスメント対策など、社会全体で守っていくべきと思います。（東京・小看多機）
- ・ 職員は高齢の利用者のことを思い、自己抑制している。ストレスも多い。医療現場程ではないかもしれないが、高いリスクの中仕事している。（東京通所）
- ・ もしコロナで利用者が感染、亡くなるようなことがあったら家族から責任を問われそうでひやひやしている。（東京・小看多機）
- ・ コロナの長期間にわたる流れの中で、ストレスがたまり心身共に限界を越えており、体の不調や仕事への向き合い方、家族様の面会や外出制限など様々な事に自分達もそうだが入居者様にも影響が出ている。（石川・GH）
- ・ コロナ感染の恐怖の中、利用者にうつすかもしれないと思いながら、生活を制限しながら生きていること。（大阪・障害・その他）
- ・ ストレスや負担が多いことを知ってほしい（岡山・GH）

## その他

- ・ 利用者さんは感染予防対策のためにあらゆる行動を自粛しています。必要な通所リハ・介護予防をあきらめて、日常活動が低下した高齢者はADL・QOLも低下しています。必然的に免疫力は低下し医療の必要度が上がり高齢者は直ぐに重症患者になります。通所リハは高齢者の人権を守るとともに、医療費抑制にも大きく貢献していることをもっと評価してほしい。（徳島・通所）
- ・ 継続した感染対策に関係した費用の補償（設備にかかった費用など）入居している方が家族となかなか会うことができない。（石川・老健）
- ・ 業務増、事業収入は減、収入減への支援（奈良・老健）
- ・ ターミナルの方の面会や外出なども控えている状況です。ボランティアさんにも来て頂けず、頑張っている状況です。そんな努力を評価する手当等考えてほしい。（東京・GH）
- ・ 介護事業所職員・利用者の公費による定期的なPCR検査（富山・訪問・通所・有料・小看多機・その他）
- ・ 現在、働いているスタッフが働き続けられるように慰労金を定期的（半年に1回）支給して欲しい。（沖縄・有料）
- ・ PCR検査の実施、慰労金が1年で5万、保証金も10万のみ、身体的な負担と不安が軽減されることがないまま、ずるずると下手な対策が続いている。ダラダラと何を根拠に決めているのかわからない政策対策やめて欲しい。説明とプロセスをしっかりとって欲しい。（石川・通所）

## 「新型コロナウイルス対策」に関するアンケート調査

2021年4月 日本医労連 福祉部会・介護対策委員会

【都道府県】（ ） 【組合または事業所名】（ ）  
【記入者】（ ） 【連絡先】（ ）

2021年1月1日～2021年3月31日までの状況でご回答下さい。

### 1. 事業内容及びサービス名

- ① 高齢者福祉 (例：特養ホーム) \_\_\_\_\_ )  
② 障がい福祉 (例：障がい者入所施設) \_\_\_\_\_ )  
③ 児童福祉 (例：乳児院) \_\_\_\_\_ )

### 2. 新型コロナウイルス感染者または感染疑い者が、いる・いた時期があった

- ① 職員 (有 ・ 無 )      ② 利用者 (有 ・ 無 )

### 3. 新型コロナウイルス陽性者(職員含む)が発生した場合の対応について教えて下さい(複数回答可)

- ① 事業の休止   ② 利用・入所制限   ③ サービスを制限   ④ 面会制限  
⑤ 通常運営   ⑥ その他 ( \_\_\_\_\_ )

### 4. 職員の労働環境について教えてください

1) 新型コロナウイルスに起因した理由で休業することができるか教えてください

- ① 休業できる   ② 休業できない

2) 新型コロナウイルスに関わる休業制度の有無 (有 ・ 無 )

3) 【2)で「有」と回答した事業】上記休業で賃金保障されるケースを教えてください  
(複数回答可)

- ① 新型コロナウイルス感染   ② 新型コロナウイルス感染疑い   ③ 子の休園・休校

4) 新型コロナウイルスの影響による退職・休職の状況

- ① 増えた   ② 減った   ③ 変わらない

### 5. 賃金について教えてください

1) 新型コロナウイルス慰労金は支給されましたか

- ① はい (20万円 ・ 5万円 )  
② いいえ

引き続き裏面の設問にもご回答をお願いします

2) 2020年4月1日～2021年3月31日までの年収について教えてください

※国から支給されたコロナ慰労金の支給を含めないでください

- ① 増えた    ② 変わらない    ③ 減った

## 6. 現在の事業所の状況について教えてください

1) 不足しているものについて教えてください（複数回答可）

- ① マスク    ② ガウン    ③ プラスティック手袋    ④ 消毒液    ⑤ 体制（人手）  
⑥ 補償    ⑦ 情報    ⑧ 設備    ⑨ その他（\_\_\_\_\_）

※不足しているものについて具体的に教えてください

→ 2) 【1) で⑥を回答した事業】では、どのような補償が必要か具体的に教えてください

Ex.) 利用者減の収入補償、職員の給与補償、新型コロナに伴う人件費の補償など

7. 政府や自治体に求めたいことを教えてください。

8. 新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、現場が必要としていること、知ってほしいこと、知らせたいことを教えてください。

9. ご意見・ご要望など、ご自由にお書きください（余白部分もお使いください）。

ご協力ありがとうございました。

※問い合わせ 日本医労連（TEL03-3875-5871）

※返信先 e-mail [n-ask@irouren.or.jp](mailto:n-ask@irouren.or.jp) / FAX 03-3875-6270

※こちらのQRコードからも返信できます ⇒



	事業内容別	全体集計		訪問		通所		GH		特養		老健		ケアマネ		小・看多機能		障がい		乳児院		有料老人		その他		NA	
	回答数	135		18	13%	29	21%	7	5%	7	5%	13	10%	12	9%	11	8%	3	2%	0	0%	7	5%	26	19%	2	1%
設問. 2 感染者または 感染疑いの有 無	職員 有	30	22%	6	33%	4	14%	2	29%	1	14%	2	15%	10	83%	7	64%	1	33%	0	#DIV/0!	1	14%	5	19%	1	50%
	職員 無	103	76%	12	67%	25	86%	5	71%	6	86%	11	85%	2	17%	4	36%	2	67%	0	#DIV/0!	6	86%	21	81%	0	0%
	職員 NA	2	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	#DIV/0!	0	0%	0	0%	1	50%
	利用者 有	42	31%	9	50%	9	31%	1	14%	0	0%	0	0%	9	75%	7	64%	1	33%	0	#DIV/0!	2	29%	9	35%	0	0%
	利用者 無	92	68%	9	50%	20	69%	6	86%	7	100%	13	100%	3	25%	4	36%	2	67%	0	#DIV/0!	5	71%	17	65%	1	50%
	利用者 NA	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	#DIV/0!	0	0%	0	0%	1	50%
設問. 3 事業所の運営 状況	事業休止	66	49%	5	28%	21	72%	0	0%	3	43%	5	38%	7	58%	4	36%	2	67%	0	#DIV/0!	3	43%	16	62%	0	0%
	利用・入所制限	88	65%	7	39%	18	62%	4	57%	6	86%	12	92%	6	50%	9	82%	2	67%	0	#DIV/0!	3	43%	20	77%	1	50%
	サービス制限	75	56%	11	61%	13	45%	1	14%	3	43%	8	62%	4	33%	10	91%	2	67%	0	#DIV/0!	4	57%	18	69%	1	50%
	面会制限	74	55%	3	17%	13	45%	6	86%	4	57%	10	77%	7	58%	5	45%	3	100%	0	#DIV/0!	4	57%	18	69%	1	50%
	通常運営	9	7%	4	22%	1	3%	0	0%	1	14%	0	0%	2	17%	0	0%	0	0%	0	#DIV/0!	0	0%	1	4%	0	0%
	その他	24	18%	4	22%	4	14%	1	14%	1	14%	2	15%	2	17%	4	36%	1	33%	0	#DIV/0!	0	0%	5	19%	0	0%
設問. 4-1) 休業制度の有 無	休業できる	120	89%	15	83%	27	93%	5	71%	4	57%	12	92%	10	83%	11	100%	2	67%	0	#DIV/0!	7	100%	25	96%	2	100%
	休業できない	11	8%	3	17%	2	7%	2	29%	2	29%	0	0%	2	17%	0	0%	1	33%	0	#DIV/0!	0	0%	1	4%	0	0%
	NA	4	3%	0	0%	0	0%	0	0%	1	14%	1	8%	0	0%	0	0%	0	0%	0	#DIV/0!	0	0%	0	0%	0	0%
設問. 4-2) 休業制度の有 無	有	94	70%	11	61%	22	76%	5	71%	3	43%	8	62%	6	50%	10	91%	2	67%	0	#DIV/0!	7	100%	19	73%	1	50%
	無	25	19%	5	28%	5	17%	0	0%	3	43%	3	23%	4	33%	0	0%	1	33%	0	#DIV/0!	0	0%	3	12%	1	50%
	NA	16	12%	2	11%	2	7%	2	29%	1	14%	2	15%	2	17%	1	9%	0	0%	0	#DIV/0!	0	0%	4	15%	0	0%
設問. 4-3) 休業で賃金保 障されるケー ス	コロナ感染	93	99%	12	67%	21	72%	5	71%	3	43%	9	69%	7	58%	11	100%	2	67%	0	#DIV/0!	7	100%	21	81%	1	50%
	コロナ感染疑	79	84%	10	56%	17	59%	2	29%	3	43%	8	62%	5	42%	6	55%	2	67%	0	#DIV/0!	6	86%	19	73%	1	50%
	子の休園・休校	56	60%	7	39%	13	45%	2	29%	1	14%	4	38%	3	25%	6	55%	1	33%	0	#DIV/0!	3	43%	16	62%	0	0%

	事業内容別	全体集計		訪問		通所		GH		特養		老健		ケアマネ		小・看多機能		障がい		乳児院		有料老人		その他		NA	
	回答数	135		18	13%	29	21%	7	5%	7	5%	13	10%	12	9%	11	8%	3	2%	0	0%	7	5%	26	19%	2	1%
設問. 4-4) 退職・休職の 状況	増えた	8	6%	1	6%	3	10%	0	0%	0	0%	1	8%	0	0%	1	9%	0	0%	0	#DIV/0!	1	14%	1	4%	0	0%
	減った	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	#DIV/0!	0	0%	0	0%	0	0%
	変わらない	118	87%	16	89%	23	79%	7	100%	6	86%	11	85%	11	92%	10	91%	3	100%	0	#DIV/0!	6	86%	23	88%	2	100%
	NA	9	7%	1	6%	3	10%	0	0%	1	14%	1	8%	1	8%	0	0%	0	0%	0	#DIV/0!	0	0%	2	8%	0	0%
設問. 5-1) 慰労金	20万円	5	4%	0	0%	0	0%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	1	9%	1	33%	0	#DIV/0!	0	0%	2	8%	0	0%
	5万円	122	90%	17	94%	26	90%	7	100%	6	86%	13	100%	11	92%	9	82%	2	67%	0	#DIV/0!	6	86%	23	88%	2	100%
	いいえ	2	2%	0	0%	2	7%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	#DIV/0!	0	0%	1	4%	0	0%
	NA	6	4%	1	6%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	1	8%	1	9%	0	0%	0	#DIV/0!	1	14%	0	0%	0	0%
設問. 5-2) 年収	増えた	16	12%	2	11%	4	14%	0	0%	0	0%	1	8%	3	25%	1	9%	0	0%	0	#DIV/0!	2	29%	3	12%	0	0%
	減った	66	49%	10	56%	14	48%	1	14%	5	71%	7	54%	4	33%	8	73%	2	67%	0	#DIV/0!	1	14%	7	27%	1	50%
	変わらない	47	35%	5	28%	9	31%	6	86%	2	29%	5	38%	4	33%	2	18%	1	33%	0	#DIV/0!	4	57%	14	54%	1	50%
	NA	6	4%	1	6%	2	7%	0	0%	0	0%	0	0%	1	8%	0	0%	0	0%	0	#DIV/0!	0	0%	2	8%	0	0%
設問. 6 現在不足して いるもの	マスク	8	6%	0	0%	1	3%	0	0%	1	14%	4	31%	0	0%	1	9%	0	0%	0	#DIV/0!	0	0%	0	0%	1	50%
	ガウン	4	3%	1	6%	0	0%	0	0%	0	0%	1	8%	0	0%	2	18%	0	0%	0	#DIV/0!	0	0%	0	0%	0	0%
	プラ手	18	13%	1	6%	6	21%	1	14%	1	14%	1	8%	1	8%	2	18%	0	0%	0	#DIV/0!	0	0%	4	15%	1	50%
	消毒液	3	2%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	1	8%	0	0%	0	0%	0	0%	0	#DIV/0!	0	0%	0	0%	1	50%
	体制	94	70%	13	72%	16	55%	4	57%	7	100%	12	92%	5	42%	6	55%	2	67%	0	#DIV/0!	4	57%	22	85%	0	0%
	補償	41	30%	8	44%	6	21%	2	29%	3	43%	4	31%	3	25%	5	45%	0	0%	0	#DIV/0!	3	43%	6	23%	1	50%
	情報	25	19%	4	22%	2	7%	1	14%	3	43%	2	15%	4	33%	2	18%	1	33%	0	#DIV/0!	1	14%	4	15%	0	0%
	設備	28	21%	1	6%	4	14%	1	14%	1	14%	4	31%	2	17%	3	27%	2	67%	0	#DIV/0!	2	29%	8	31%	0	0%
	その他	12	9%	1	6%	3	10%	0	0%	1	14%	1	8%	1	8%	2	18%	0	0%	0	#DIV/0!	1	14%	2	8%	0	0%